

# やる気発生装置

教室通信 Vol.3 012

R 8. 2. 6

個別指導教室  
セカンド・キャンパス  
075-711-0399  
<https://www.second-campus.com/>

中学(1,2年)			高校(1,2年)		高校入試	
修学院	高野	近衛	京都工学院	紫野	私立	公立前期
2/16~	2/18~	2/18~	2/25~	2/26~	2/10	2/16
第4回定期テスト	学年末テスト	第4回定期テスト	学年末テスト	学年末テスト		
あと10日	あと12日	あと12日	あと19日	あと20日	あと4日	あと10日

## 変わった塾…かも知れないけれど

当塾の教室を初めて見に来られた方は、「いつ来ていつ帰ってもいい、毎日来ていい」というスタイルにわりと驚かれるようです。僕自身は当然これにもう慣れていますが、似たような塾もいくつか知っていますから「そんなに変わってるかな？」というのが実感なのですが、固定された時間割と生徒ごとのレッスン日程があるのが一般的な塾なのかも知れません。他の世界も知らないといけな、と感じる次第です。

そんなわけで、いろんな生徒さんがいます。毎日必ずやって来てお弁当持参で張り付いている、常連というより住人のような人から、なかなか会えないレアキャラまで様々です。塾の滞在時間と成績とはおおむね相関します、教室にいるメンバーがみごとに上位層ばかりという時も珍しくありません。当塾では偏差値の高い子を特待生にして優遇するといったことは一切していませんが、こうやって毎日来ている人、勉強に対する優先順位の高い人が絶対的に得をするような形になっているので、結果としては、かなり弱肉強食の塾になっていると思います。「だれ一人取り残さない」という観点での正義にかなうのかどうか、それはなんとも言えませんが、誰にでもチャンスがある場所ではあり続けたいです。実際、前の学年からの定着できていないことが多数あって成績的にはかなり厳しくても、毎日のように自分から来て勉強している子、というのは毎年必ずいます。そういう人が一番得をするような塾のあり方でないといけな、と感じています。また、なかなか自分の意志で机に向かうことができない人が、教室の空気のなかで自分から勉強するように変容していく、ということも何度も見えています。

勉強することへの優先順位が高く、毎日のように努力する人が結果を出して得をするのは当然で望ましいことですが、一方で、そういう人達だけが偉いということでは決してありません。なかなか来ない人に会えるとやはり嬉しいです。その感覚は僕の中で大事にしています。



当塾、一律の時間割やカリキュラムがない分、学習スタイルの個人差は大きいです。その中で、みんなにチャンスのある空間にしたいです。

### 当面の教室予定

**2/6(金)**

16:00~22:00

**2/7(土)**

16:00~22:00

**2/8(日)**

16:00~21:00

**2/9(月)~2/10(火)**

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。